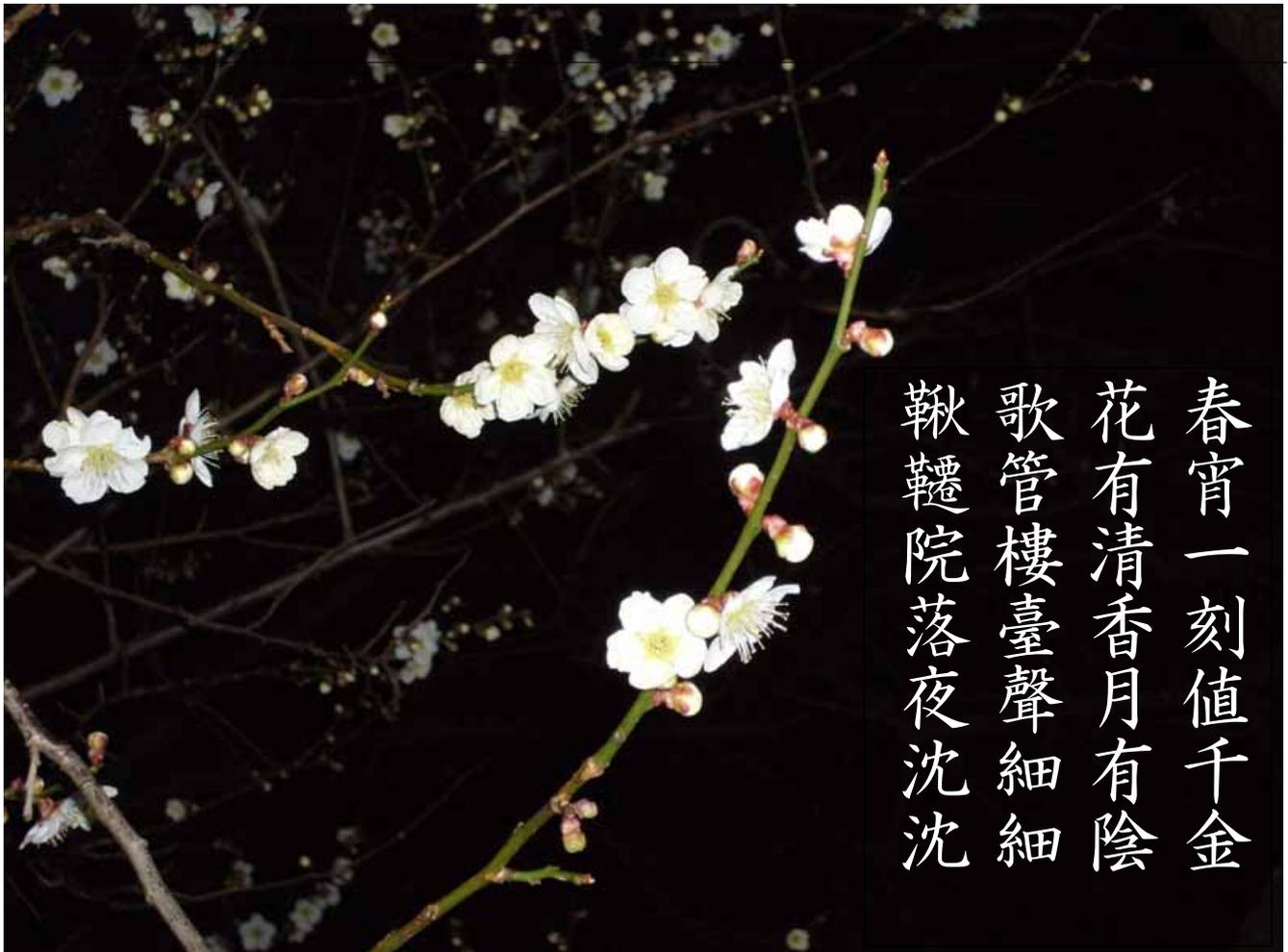


ビブリア

福島高専図書館



春宵一刻值千金
花有清香月有陰
歌管樓臺聲細細
鞦韆院落夜沈沈

年年歲歲花相似 歲歲年年人不同

目次:

卒業生が勧める本

機械工学科 2

電気工学科 4

物質工学科 6

建設環境工学科 8

最近読んだ本 10

新着図書 13

図書係りから 14



卒業生が薦める本

手書きの原稿を掲載しました。

機械工学科

木村 真悟

オススメは...

GoO Bike 首都圏版
PROTOバイクを買うのに参考になった。
毎月25000台以上の情報がある。

櫛田 章博

オススメは...

月刊 パワフルサックス 地方版
7月号7月号にはフルート特集があって
最高におもしろい。

柴 孟宏

うちがオススメのけ...

「続・カメの金町」の方」加味社
水もよむ池2。前作は1120P 14冊の括弧がた
カメの寿命が飛躍的に向上した！

柴崎 淳一

僕がオススメの本は、

「電撃 萌王」

もうこれは... 5冊。僕。好評作家が
11,12冊。参加して... 5冊。今日も徹夜したよ...

32番 三枝 聡太

「スマッシュ」

テニスのやつ
うまくなるから

「ゴンク」

プロレス 強くなる
から

「CHINTAI」

「人ぐらしにそなえて
はじめの一步」

ボクシング

できるから。

「る・る・ぶ」

卒業旅行にそなえる。



白山子
ルウェーの森 (上)(下)
著、村上春樹

今の若者に必要かと、

小島 晃
ダ・ヴィンチコード (上)(下)

読んでみたいから

ものづくり魂 山口愛

井深大
サンマーク出版
ためになる事が書いてあるまで

狭川 好美
ボロボロにな、た人へ

リリー・ فرانキー
リリー・EWらしい感じが好きです

小瀧 浩
ものづくり 解体新書
日刊工業新聞社
高専生ですのて、ものの仕組みを
知ることは大切な事だと思ってる。

松本 康裕
夏の花火と私の
死体

乙 -
ミステリは おもしろい

小松 勇樹
SEのフシギな生態
きたみりゅうし

SEという職の実態がよくわかる

綾川 祐樹
バッテリー
あとのあつこ

今の若者に必要かと、

二瓶 修一
電車男

中野 独人
モチない男のためのバインブル
だけど、現実にはそんなに甘くない
から、気をつけろ!

廣畑 一道
もっと生きたい...

Yoshi
読み始めたら 結末を知らずに
は いられたらいいと思う

電気工学科

堀越 智久

コンピース 尾田栄一郎

コンピースを巡る 海洋冒険
ロマン

東京タワー

リリーフランカー

松本 晴史

試すな危険! 冒険野郎ハットアーク

話のネタになるから。

グッドラック

GOOD LUCK

・人ほについていろいろ
教えてもらっているから。

独習C

第5章配列

作山 裕

シート

小針 未由希

「ダニヤレ・ヌーヴオー」

著者?

「『寝グセですベンツ』

用例: 寝グセの人にむかって
相手の理想的セリアクション: 高級だネ!

白夜行

東野 圭吾 著

バッテリー

遠藤 祐希

あせのあつま

めり長くてすが是非。



ナルニア大國物語

柴田 佳央了



(1) 今野 亮

(2) 博士の愛した数式

(3) 小川 洋子 著

新潮社文庫
数学が好きになりました。

(1) 今野 亮

(2) なぜか久々に好かれる人の習慣

(2) 榊 旦純

成美文庫

これを世界中の人が呼ぶべきって
世界が平和になると思います。

(1) 中戸川 武

(2) 退屈知れずの消遣本

消遣知識はおもしろい。

こういう本を待っていたのか。

勝ち組と言われていたその人は、ほどなくして逮捕され、容疑を否認しつつ暖房のない個室で史記を読む毎日である。勝ち馬ならぬ勝ち組を持ち上げ応援していた人々は釈明やら弁明に追われていたが、一通のメールでうやむやになりそうだ。負け組みの人であっても挑戦できるシステムと繰り返す人は、具体的な手法を提示することなく後継者には、信念と洞察力を期待すると言う。結局、ごく少数の勝ち組と大多数の負け組や格差を目の当たりする事実、言葉など空しいではないか。そんな中、なぜか売れ出した本がある。意識、認識の壁を説いた本よりも売れているという。

国家の品格 藤原 正彦 (著)

新潮社 ; ISBN: 4106101416

著者の言葉 日本は世界で唯一の「情緒と形の文明」である。国際化という名のアメリカ化に踊らされてきた日本人は、この誇るべき「国柄」を長らく忘れてきた。「論理」と「合理性」頼みの「改革」では、社会の荒廃を食い止めることはできない。いま日本に必要なのは、論理よりも情緒、英語よりも国語、民主主義よりも武士道精神であり、「国家の品格」を取り戻すことである。すべての日本人に誇りと自信を与える画期的日本論。

著者の藤原正彦氏は、数論を専門とする数学者である。現在、お茶の水女子大の教授、付属図書館長でもある。父は新田次郎氏、母が藤原てい氏であり、てい氏の「流れる星は生きている」の中に書かれた少年が正彦氏であった。

国家の云々という本を読む国民の数100万人。異常な売れ方である。何を求めているのだろうか。新しさではないような気もするが・・・

物質工学科

根本 奈都子

沈黙の春 リチャード・カーソン

地球の尊さを感じて下さい。
おススメです。

猪俣 早穂

お父さんは太陽になった
ひらた まどか

泣けるよ。がん闘病日記。ケツメイモ
お預めしている本だよ。

真柄 暁仁

「SHOXX」

見れば美らについて学べます。是非。

倉持 美沙子

エレクターズ4階へ
マリア・グリーヘ

とてもおもしろい物語です。現実離れ
してますが、とても読みやあいです。

佐々木 有佳

It - それと叫ぶ「わたし」-

エス・エス・エス 虐待の日々。
普通の家族がどかだけ幸せか
と思いきらさかします。

渡邊 由岐子

天使の卵 村山 由佳

とても切ない話。
恋愛について考えさせられました。

黒澤 雄樹

よくわかる最新DVD技術の
基本と仕組み
勝浦 寛治 秀和システム

DVDや Blu-ray Disc, HD-DVD の
構造や仕組みがわかりやすく書いて
あります。興味のある人はどうぞ。

鈴木 有紀

あつたへ

八戸高専の学生が書いた本です。
読書の苦手な私も感動した1冊です。

中根 健

夜光虫 馬世屋間

かなり暗くて暴力的な話。
最後の最後に主人公が少くだけ
救われる感じがあるの女子です。

小川 望

黒鷲死体宅配便

就職に困っているヤコなど特殊
能力の持ち主が、財産の一部を
報酬として死体宅配便をやる話。

里村 美咲

天国までの100マイル

浅田 次郎 (T.浅)

たしか映画化した。
矢張り、ホームレス同然になったサラリーマンが、ガソリンになった母のためにボロ車で約100マイルの距離を走り、天才医師の元へ連れて行く話。

鈴木 大輔

真田 太平記

池波 正太郎

舞台は戦国時代、真田幸村を中心とした真田家の生き様が描かれています。真田十勇士は登場しませんが、忍者が多く出てきます。

糸野 綾子

「死ぬかと思った。」

死ぬかと思ったシリーズは、ばかげています。スリムなお腹の方は、腹をかかえて笑って下さい。

先崎 達也

鬼鬼の匣

京極 夏彦 講談社

初めてミステリーを言読みましたが、主人公たちが個性的でおもしろいです。シリーズでどうぞ。

宮原 純

戦闘妖精雪風

神林 長平 早川書房

高野聖の方が書いたSF小説です。SFが好きな人はぜひ読んでほしい。ください。

島村 翔太

稼ぐが勝ち

堀江 貴文

若者が将来に希望を見出せない現代社会の一端を分かりやすく書いている。これを読んで、もっと経済に興味を持ちましょう。

工藤 雅彦

日本原論シリーズ

爆笑問題 幻冬舎

世の中の出来事や事件をわかりやすくして面白く解説しています。笑える上に考えさせられます。

伊西 涼

ネット株で稼ぎまくれ!

CQR研究所

ネットで始めるかんたん投資
70カラーイラスト満載で分かりやすい。

サイファイ・ムーン

梅原 克文

読み手を飽きさせないエンターテインメント作品にこだわった小説の短編集



建設環境工学科

白井 健太郎

私が勧める本は

そのときは彼によろしく

市川拓司 著

仲の良いヒトに勧められて読んでみることに。最後の結末が良かった。

白井 健太郎

私が勧める本は

MOMENT 本多 孝好 著

「死ぬ前の人に願いを叶える」主人公の話。4遍の中でも3番目のFIREFLYが心に残った。

白井 健太郎

私が勧める本は

JOURNAL Kurt Cobain 著

若くして自ら命を絶ったニルヴァーナのヴォーカル、カート・コバーンのダイアリー。繊細さと入り乱れる感情がすごい。ファンが読むと切なくなる。(英字)

白井 健太郎

私が勧める本は

ロス・カーテン 桐野夏生 著

気になった人の本なので読んだ。男なら大半の人が主人公「村野ミロ」の魅力にはまるはず。全米でも話題となった「OUT」の著者。

白井 健太郎

私が勧める本は

たたり 雨宮雫子 著

ホラー小説では個人的にこの作者が一番巧みだと思ったりしている。ラストが近づくにつれて恐怖が増幅してくるのが良い。少々グロイ。

武田 拓志

私が観める本は

「ぼくは勉強ができない」

山田 善永美

友人に観められて読みました。勉強するのに疲れちゃった人はぜひ!!

丸山 泰孝

私が勧める本は

「2001年宇宙の旅」

アサー・クローク

この世界観尋常じゃない!!

早矢仕 梨江

私が オススメ する本は

「七国のイジス」

福井 晴敏 著

海上自衛隊とテロリストの物語。話は長めですが、とにかく泣けます。2005年夏に映画化されました。

富永 裕一

私が勧める本は

エンドゲーム -常野物語-

恩田 陸 著

"裏返えされたSどうなるか" 正体不明の"あれ"と戦う一族の物語。

仲野 寛康

私の オススメ は

「ポストガール」 増子二郎

心温まるお話です。

関 友則

私が勧める本

奇とぼくの壊れた世界 西尾維新著

何かと神がかっている西尾維新のアンハッピーエンドな小説。

関 友則

私が勧める本

フーコー ジル・ドナルズ著

ドナルズによるフーコー論。最近社会学の方面で注目される「管理型権力」など、現代を読み解く様なアイデアに満ちた本です。

関 友則

私が勧める本

フロイト著作集 シグムント・フロイト著

不当に扱われることの多いフロイトですが、精神分析に興味がある人はまずフロイトの著作にあたるのが良いです。心理学化されたフロイト像はつまらないものが多いです。ただこの『著作集』には致命的な誤訳も多いです。

関 友則

私が勧める本

エリクソンと差異 ジャック・デリダ著

フーコー論、レヴィナス論、ジャナス論、フロイト論、アトー論 などなど、手に負えないくらい手に負えないボリュームで論じる、いつものことながら密度の高いデリダの初期論集。邦訳は上下の2巻。

高橋 青明

『技術行にも自治がある』

大熊考著

これからの河川工事に携わる人は
必読!!

小島 充晴

『新聞』

テレビのニュース < 新聞



春休み中の図書館 転機・・・

学校に付属する図書館は学校の特色を写した存在です。ものづくり、技術者教育を目的とする本校の図書館もその実現のために、書籍や各種情報を集め提供することに力を入れてきました。蔵書は年々増加し続けて来ました。しかし、技術の速度と蔵書の更新のミスマッチ、古くなった本の整理も十分とはいえない状況も長く続いて来ました。書庫や閲覧室の狭さも何とか改善したいところですが、かなり大胆な発想と思いついた経済的な裏づけが必要で、実現にはかなりの困難が伴います。そこで、これまでの収集、集積という姿勢に選択的、選別的という言葉を加えて、コンパクトな図書館として、資料の点検を開始しました。誰にとっても重要な本を蔵書とするのは当然ですが、技術的、歴史的にその使命が終わったと考えられる本、長期にわたって利用されていない本などを整理する計画を立て、この春休みから実行しています。

出版される書籍の数は年々増加しているそうですが、必要なときに欲しい情報を得られる図書館、提供できる図書館となるために、様々工夫をして取り組んでいきたいと思えます。

この本は古くて使えません。この本の改訂版が出ましたなど、情報をお寄せください。

よろしくお願ひします。

最近読んだ本 あるいは あなたへ薦める本

おすすめする 3 冊

鈴木由美 (図書館司書)

本を読む楽しみ、とくに小説を読む楽しみって何でしょう。それは小説から自分とは異なる人生を疑似体験できることではないでしょうか。本から得る疑似体験は、今あなたが生きているこの世界をより深く味わうためのエッセンスや、困難にぶつかったときの支えやヒントを与えてくれるものです。

以下に私が読んで心を動かされた本を 3 冊紹介します。本から得た感動をみなさんに伝えたいと、小説の世界 読み解き文章をつづる。感動を咀嚼し表現する。そういったことも読書の楽しみのひとつかもしれませんね。

「あなたへ」 川崎愛美 著

高校一年生の少女が、死んでしまった少年への思いを手紙形式でつづった恋愛小説である。2 人であることの喜び、相手の心が分からないときの不安、相手が自分に目を向けてくれないときの相手を傷つけてしまいたくなる気持ち。恋愛まっただ中の主人公の心の動きがストレートに表現されていて、読者は主人公の気持ちに素直に共感しながらこの小説を読み進めていくに違いない。

この小説を読み終えた後には、心が洗われたような余韻が残る。それは、ひたすら「あなた」への思いを追い続ける、主人公の純粋なまなざしによるものであろう。

恋愛小説のエッセンスが 100%ぎゅっと濃縮されている小説だ。

しまいには作者の河崎愛美さんは、国立八戸工業高等専門学校の 2 年生。小説「あなたへ」は昨年第 6 回小学館文庫小説賞に選ばれた。

小学館 ; ISBN: 409386151X ; (2005/04)

「ナラタージュ」 島本理生 著 角川書店

「忘れられない人はいますか。」

冒頭の 2 ページからそんなささやきが聞こえてきそうな小説だ。

この物語は主人公の工藤泉のところに高校時代の演劇部の顧問であった教師の葉山から、後輩達といっしょに芝居をしてくれるかと電話がかかってきたことから始まる。かつての仲間と後輩たちとの稽古が進むうちに、実は泉が高校時代に葉山へ熱い思いを抱いていたことが読者に明らかになってくる。

「ナラタージュ」(narratage 仏語)とは映画で、主人公に回想形式で過去の事件を物語らせながら場景を構成していく手法である。作者はこの小説を、映画を作る感覚で書いたのではないかと思う。

映画の場合、セリフ以外に登場人物の思いを伝える方法のひとつとして、シーンとシーンを繋ぐ方法が使われる。例えば、映画で別れの切なさを胸に主人公が湖畔にたたずむというシュチュエーションを描くとしよう。映画の作り手は、涙ぐむ主人公の表情をクローズアップで捉えた<シーン A>の後に、真っ赤な夕焼けに染まるといふ<シーン B>をつなぐ。すると、<シーン B>は単なる「場景」描写を超えて、主人公の感情を静かに代弁する意味合いが込められる。これをおある映画監督は「『場景』を『情景』に変える」といった。

「ナラタージュ」では、登場人物の性格や彼らに起こる出来事が細やかに「場景」描写されている。物語が進むにつれ、こういった細やかな描写に彼らが対話を繰り返す過程で見せる弱さや優しさなどが重ねられ、登場人物の心の機微に奥行きを与えている。このような作者の細やかな「場景」描写は、読者にとって徐々に奥行きを持った「情景」に変化し、いつしか読者はこの静

かな語り口の小説世界に感情移入してしまうのである。

クライマックスである泉と葉山との最後の逢瀬の場面は、この小説世界にどっぷり感情移入した読者に最も鮮烈で切なく迫る。そして数年後に泉が思わぬ人と会い、彼から葉山について知らされる事実も、切ない。小説の終盤、回想のクライマックスである彼らの最後の逢瀬の場面につづき、数年後に真実を知る場面が展開している。こうした場面展開から、泉が葉山との別れ以後ずっと葉山との日々を胸に繰り返し映し出してきたこと、また彼女がこれから先もそうして生きて行くことが想像される。

「忘れられない人いますか」 カタカタカタカタ・・・。
忘れられない人の面影を繰り返し映し出す音が聞こえる。



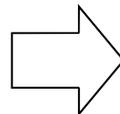
春休み中の図書館

- - - 収蔵能力の向上、蔵書の整理作業 - - - -

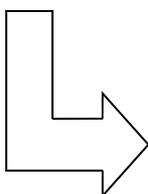
3月は移動書架の設置と蔵書の整理作業のため図書館は閉館しています。1Fに設置される移動書架には学術雑誌をまとめて配架します。設置前は固定の書架4台に配架していましたが、収納容量の限界となっていました。校長裁量経費の配分を受け、6台の移動書架を設置しました。

劇的に収納力が向上した事がお分かりいただけるとと思います。この変化は実に劇的でした。

before



after



移動書架の設置

本であふれていた書庫
雑誌類を移動しました。
古い書架を分解して新しい移動書架を設置
2FからJISを移動しました。

「玉蘭」 桐野夏生 著 朝日新聞社 出版 2001年

深いところに沈んでいる感情を静かに震わす小説だ。

この物語は、東京での生活に行き詰まり、すべてを捨てて上海に語学留学した広野有子が留学先の寮で眠れない夜を過ごすところから始まる。そんな夜、70年前に上海で船乗りをしていた若き日の大伯父の質(ただし)の幽霊が現れる。物語は有子とその元恋人松村、大伯父の質とその内縁の妻である浪子を中心に、現在と過去が交錯した壮大なスケールで展開する。

この物語でまず気にかかったのは、有子や日本人留学生達のなにかしら不安定さを抱えているような人物像だ。例えば、有能でかなりの美人なのに自信のなさがにじみ出ている有子、ジーンズにTシャツというラフな格好に不釣り合いなくらい派手な化粧をして留学生の間でスキャンダラスな話題の的となった佳美、飄々とした態度で感情をあらわにしないが実は新興宗教らしきものを信仰している穂積、といった人物像だ。

彼らの根本には、自分が生きている世界の中での自分という存在 納まりの悪さがあると私は思う。不自由な環境ではないが、自分が生きている世界と私の間に生じる齟齬。それによる生きることへの渇き、虚無感。こういった渇きや虚無感は、留学生活で有子の中に生じた「自分を壊してしまいたい。」という衝動に共感する人なら多かれ少なかれ抱えているのではないだろうか。私自身にも有子の衝動に共感する部分がある。それゆえ、彼らの抱える不安定さに敏感に反応したのかもかもしれない。

後に有子は、同じ留学生同士である萱島と関係をもったことをきっかけに、心の奥の彼女にとって大切な部分を徐々に破壊させていく。このとき彼女の内で破壊していったものとは、自分の心に簡単に他人を立ち入らせないための壁であったり、東京で松村との関係を育んでいく過程で見せた、言葉によって相手に歩みよっていかうとする彼女の本质ともいえる部分だったのだろう。

「生きる。墜ちよ。」という坂口安吾の言葉を思い出す。

かつて大切にしてきた自分のある部分を破

壊させながら前進することを選んだ有子の姿は痛々しく、彼女が行き着く先が明るいとも想像しがたい。しかしこの破滅的に見える有子の姿に、私は野性的ともいえる力強さと美しさを見いだす。それは今までのなにもかも捨てていかうとする有子が、常に生と死が隣あわせのぎりぎりの状況で上海を生き抜いた70年前の質と浪子にどこか似ているからかもしれない。

最後に、松村と有子が別れてから1年後に上海で再会する場面を読み解いていきたい。

彼らの再会については、作者は幻か現実か曖昧な締めくくり方をしており、その解釈は読者にゆだねられている。松村が、再会した有子が自分が知っている有子と様変わりしていたために再会を現実離れしたものと感じたのか、それとも有子との再会は松村の泊まったホテルの部屋に残された玉蘭の香りが見せた幻だったのか。作者が彼らの再会をこのように締めくくったのには、どんなに愛する人でさえもその実像すべてを捉えることができないという人間存在が秘める謎、自らが捉える世界の不確かさ、はかなさを暗示させる意図があったのではと想像する。

「新しい場所に足を踏み入れることは、よく知っている世界の実是最果ての地に今いるっていうことなんだ。」これは幽霊の質がはじめて有子の前に現れたときに言った言葉だ。あなたはこの言葉をどのように読み解くだろうか。私はこの言葉をまだうまく読み解けない。しかし自らの捉える世界の不確かさ、はかなさ 思いをはせながらこの言葉を読むと、この言葉には孤独や寂しさが潜んでいるように私は感じる。

「悲しみや苦しみは人生の花です。」また安吾の言葉を思い出した。

玉蘭。別名をハクモクレン、ビャクレンという。春に大形の花を咲かす。花弁は肉質で香りがよい。

この物語には玉蘭の香りの気配がそこはかとなく漂っている。

小説「玉蘭」をどうぞ味わってみて下さい。

新着図書

最新の情報は図書館ホームページで見ることができます。)

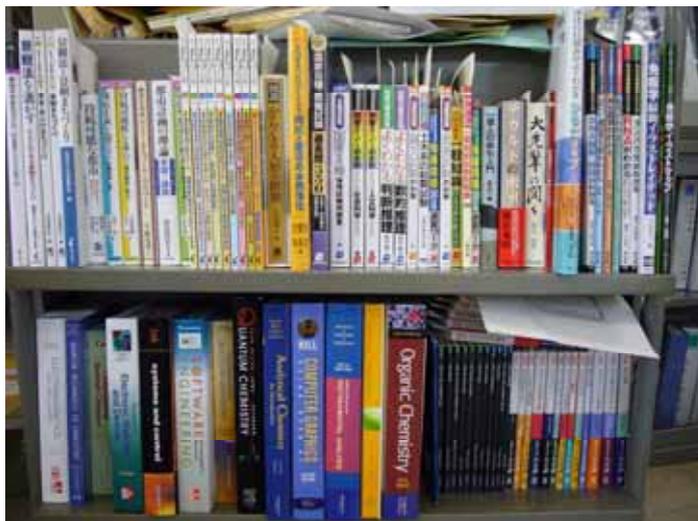
書名	著者	出版社
要求を仕様化する技術・表現する技術	清水吉男	技術評論社
徹底図解自動車のしくみ	新星出版社編集部 編	新星出版社
帰ってきたアルバイト探偵(アイ)	大沢在昌	講談社
気くぱり上手な人の習慣術	ライフ・エキスパート 編	河出書房新社
河川の科学	末次忠司	ナツメ社
紙の破壊王	『紙のプロレス』編集部 編	エンターブレイン
この胸いっぱいのを	梶尾真治	小学館
天然石と宝石の図鑑	塚田真弘	日本実業出版社
「ランチェスター経営」がわかる本	竹田陽一	フォレスト出版
図解5分で人を見抜く	武田哲男	PHP研究会
ダジャレヌーヴォー	石黒謙吾	扶桑社
信長の家臣団	樋口晴彦	学研
コーポレート・コーチ	伊藤守	ディスカバー・トゥエンティワン
VOW 17	宝島編集部 編	宝島社
あなたが生まれてきた理由	高橋佳子	三宝出版
あのころの未来	最相葉月	新潮社
生きることも死ぬこともイヤな人のための本	中島義道	日本経済新聞社
恋することと愛すること	遠藤周作	新風舎
こどもたちへ	水谷修	サンクチュアリ・パブリッシング
ショートショートの世界	高井信	集英社
(タウ)になるまで待つて	森博嗣	講談社
地図からの発想	中村和郎 編	古今書院
天国からの道	星新一	新潮社
電子の星	石田衣良	文藝春秋
とってもしんないきものたち	小宮輝之 監修	辰巳出版
ドラえもん短歌	柊野浩一 選	小学館
猫丸先輩の推測	倉知淳	講談社
はい、こちら国立天文台	長沢工	新潮社
北斎の富嶽三十六景	大久保純一	小学館
ももこタイムス	さくらももこ	集英社
理系思考	大滝令嗣	ランダムハウス講談社
届かなかったラブレター	届かなかったラブレター発 刊委員会 編	文芸社
ジャパントイズ社説集	ジャパントイズ 編	ジャパントイズ
ハピモテ恋愛塾	佐藤富雄	ビジネス社

他280冊ありました。ブックリクエスト受付中です。

図書館から

新着図書

前のページに最新の情報はwebでと書きましたが、webにある情報が最新のもので最良のものであるとは限らないのです。矛盾するようなことですが、webは結果であって、リアル世界は状態という経過が存在するわけです。右の写真にあるように図書係に届いた本があるのですが、決められた手続きを経た後でなければweb上でも新着図書として公開されません。(webで新着なら、この写真は最新着となるのかもしれませんが。) 洋書が不足しているのではないかという指摘もあって、専門科目、数学、物理など英語で書かれた本を発注しました。最近になって続々と届いています。洋書は値段が高い(変動する)のと入荷に時間がかかるのが難点ですが、きれいに丁寧につくられているのに作り手の意気込みを感じます。今後は洋書の購入にも力を入れますので、ぜひ、活用してください。



長く使ってもらいたい、読めばわかるように作り込んでいる、見せる工夫など、読者に語りかける著者の気持ちが相当なものであることがわかります。どんなことを考えて、この図を入れたんだろうか？などと考えるのも、読む楽しさのひとつです。ある意味でわかったような気持ちになれます。(?)

購入した洋書のうち何冊かは翻訳されて、専門学科の教科書として使っています。Organic Chemistryは、図の配色も工夫されていて見ていて楽しくなります。4月には、これらの本も閲覧室に並ぶ予定です。

ブックリクエスト

図書館にこんな本が欲しいと思ったら、下のようなリクエストボックスに、書名などを書き込んで、ブックリクエストを出してください。連絡先などを書くことで優先的に借り出すことも可能です。明日までに、来週までという声には、なかなか対応できませんが、読みたい、知りたいという声をできるだけ早く形にして応えたいと思っています。

リクエストボックスがどこにあるか 探して下さい。

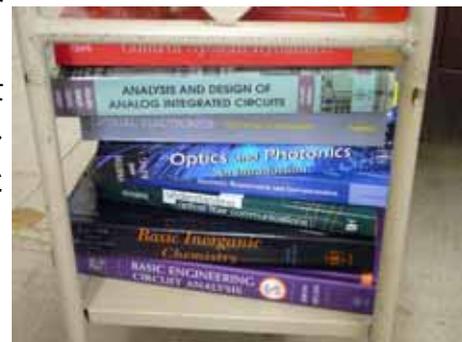


本以外にも、図書館への要望がありましたら、リクエストボックスを利用してください。

図書係のカウンターは、ヘルプデスクでもあります。この本を探している、こんな資料が・・・相談をお待ちしています。

JABEE対応 図書館の証明・・・

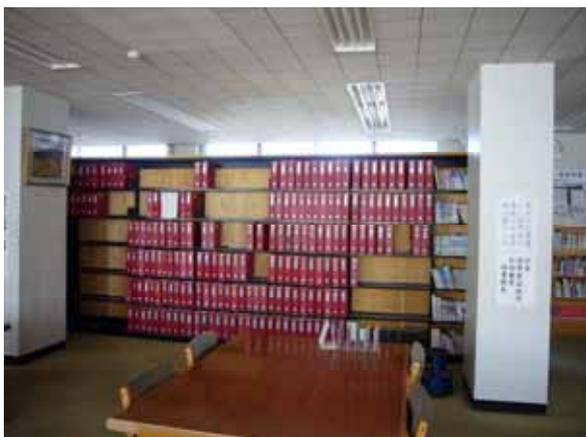
工学教育の質の保証としてのJABEEがあり、本校もその審査を受けるために様々な準備をしています。図書館にも教育目標のパネルが掲示されました。エビデンスの確保だけでなく、plane、do、checkのスパイラルアップを実現するために様々な取り組みが行なわれています。そういった視点で図書館を見れば、学習や研究という本校の重要な部分に深く関わっているという重い責任を担っていることとなります。単に窓口でなく、拠点となっている以上、図書館としても単に「そこにある」という状況からより積極的に、情報の収集・活用拠点の場所というポジションを意識して、これまでの方針や取り組みを再確認している状況です。教育や研究の支援拠点であるという以上、エビデンスを整える必要があります。書類での表明も必要となるのは仕方ないのですが、見た目にもそれを感じられるように、その意図を対外的にも開かれた施設である面も少し意識してそのエビデンスを整えようとしています。



閲覧室 配架図書の様様替え

新学期、閲覧室内の様様替えに気づくことでしょう。上にも書いたように洋書や視覚関係の書籍を購入して皆さんに利用してもらう計画が進行中です。学科、学年で使用する教科書、参考図書の展示スペースも設けるなど、その試みはまもなく実施される運びです。

2月末まで閲覧室にJISが置かれていました。閲覧室の一番目立つところに配架し、専門学科に対応した分野の規格を購入し続けてきましたが、JISがインターネット上で公開されていることもあって、紙媒体での購入（JIS追録購入）を昨年度（16年度）で停止しました。さらに、学科ごとに管理をお願いするなど一番よい場所の効率的な利用を計画しています。3月末には完全に空いた状態になりました。引き取り手がなかったJISの追録は当分の間、1Fの保存書庫にて保管する予定です。4月以降、この書架には教科書とそれに相当するレベルの洋書、資格試験問題集や参考書などを配架する計画です。



脳の補正機能に関する一考察？ なぜこの本の面白さが伝わらないのか ！？

携帯で聴く音楽もいいけど、イヤホンはずしてミニコンポでもかまわないからオーケストラの演奏を聴いて欲しい。音の遠近や空間の広がりを感じ取ることができるはずだ。数メートル先にある2本のスピーカーから出てくる音を聴いているはずなのに、自然とコンサートホールのような大きな空間とステージに並ぶオーケストラを意識できる。人間は耳に入ったままの音を聴いているのではなく、脳内で自動的に（無意識のうちに）情報を補正しているのだ。スピーカーの音に反応すると実演の記憶などが刺激されて、それらしく聞こえる。これが無意識のうちにされている。これに限らず見えるって事も恐ろしく高速な情報処理の結果なのだ。

五感のピークは20代と言われている。残念なことに感覚は年齢とともに低下してしまうものらしい。しかし、料理、写真、デザインなどの感性で仕事をする人たちのキャリアのピークはかならずしも20代ではない。年齢とともに低下する分を何かが補っているだけでなくさらに高めていることの方が多いのだ。若い頃に、できるだけ感度が高いときに音やイメージを脳に焼き付けておくと、感覚自体は劣化しても、脳の補正機能の力を借りて、洗練された「美」を次々と創造することができる。これを才能と呼び、多くの人に訴えるだけでなく、共鳴させる力を持つ。これもすごいことだ。（自分にはないものに出会うときの喜びは格別ですからね。）

これは、図書館の広報だから、この響きあうものを本を読むという作業に置き換えます。読書では文字という記号だけが視覚に伝わるだけなので、読んでいる間、心の動きの大部分は読者自身が共鳴するかどうかになってしまう。つまり、脳による高速情報補正より、文字という記号に刺激されて脳が主体的に情報を構成するという過酷な作業を担当することになります。しかもその範囲は、本に書かれているもの全て、感情、思考、歴史、自然、宇宙まで広がる。小説から受ける印象のかなりの部分が読者自身の脳細胞に依存することになるので、同じ小説を読んでも読む人によってかなり違ったイメージを作り上げることになります。しかし、本人がそうした脳の働きを意識していないので、他の人の感じ方の違いを理解することって難しいことになります。「どうして、この本の面白さが伝わらないのか！？」どうしたらこの本のよさを伝えられるんだろうって。

文章が意味の連なりであるので、読解の深さや正確さに差が出るのはしかたがないにしても、読んだ後にやってくる喜びや楽しみの個人差は、脳細胞や人生経験の違いなのかもしれない。同じ本でも読む時代、年代で受け止め方は異なってくるのだろう。そういう意味で、小説を読むってことは、自分なりの感じ方で自分自身を味わうことなのだろう。その本の感想を交わすことは、より深く相手を知ることになるのだ。この本読んでと手渡すことは、意味深いことなのだ。（宿題は除く）あの本読んだ？という会話の後にある気持ちというのが見えるかな。主人公が苦しさや不安、逆境に負けないで頑張ったとか、気持ちが通じ合って成功したみたいな小説を読むと感動して涙が出そうになる。まだ、続かかねえと読んでいたのに、そういった状況になると勝手にスイッチが入る。でも、テーマが恋愛になるとそれがどうもうまくいかない。まあ、そうなんだろうねと想像するけど、感動まではちょっと遠い、と書くと人生経験上のいわゆる恋愛経験の少なさが補正を邪魔してるってことになるのかい？ まあ今更って感じもするけど。いやいや補正が効く効かないってレベルでないって事かもしれない。正直、セカチューで泣けるってわからなかった。小説よりも奇なりアル社会で泣いているせいなのかもしれない。この本泣けるから読んで と手渡されてもなあ と人生いろいろという言葉があったなあと思う。

福島高専図書館報 ビブリア 第100号 ビブリア編集委員会

〒970-8034

いわき市平上荒川字長尾30

福島高専 庶務課図書係

Tel 0246(46)0708 FAX 0246(46)0748

Email: tosyo@fukushima-nct.ac.jp



- 編集後記

・ついに100号、皆様のおかげです。御礼申し上げます。 続く、101号以降もよろしくお願ひします。（一同）

次号から、冊子体復活の予定です。（計画中）

・web検索からメールでコメントをお寄せ下さった石川邦子様、ありがとうございました。

・ここまで来たら何か新しいことをと自筆原稿をスキャナで・・・規格までは良かったのだが、いろいろ ごめんね。（U）

・スキャナーで読めば良いて、こういう結果ですよ。ペン書きして欲しかった。結局、コピーした原稿を読み取りました。（A）

・入力の方が速かった と思ってますけど、性格や人格が出る文字って・・・鉛筆書きでは 読み取り大変でした（K）

・本の紹介が年々、短くなるのは本離れが進んでいる証拠でしょうが、薦める本くらいあって欲しいよなあ と願っています。

・街頭テレビって、こんな感じ？画面にくぎ付け・・・WBC決勝。世界一もうれしかったけれど、BaseballよりYakyuと書かせた89の背番号の王監督の胴上げやイチロー選手の表情、姿はとても印象深かった。